



東京都看護連盟 第3回ミニポリナビ報告「リビング・ウィルを考える」

東京都看護連盟青年部 前田和哉・阿毛裕理

前回同様、会員を中心に20名以上の参加がありました。

訪問看護師の前田と看護師で行政書士でもある阿毛とのダブル講師による講演を行いました。

前半は、前田から延命治療の現状や、リビングウィルとは？最後の意思を残すには？といった切り口からの講演でした。

その問題提起を受け、後半では、阿毛が具体的にリビングウィルを残すために、エンディングノート、遺言など法律の見地を含めた方法について提案しました。

また、参加者によるグループワークでは、実際に自分の最後の意思を残すことについてディスカッションを行いました。

講義を終えて、参加者からは、「延命について自分の職業に通じるところも多く、大変参考になりました」「もっと勉強してみたいと思いました」「終末期の方達にここまでの話を聞くことが出来ていなかったと反省でした」「人によって捉え方の違いもあるため、特に話すのが難しいことでもあり丁寧な対応が必要だと感じました。」などの感想が寄せられ、実りの多いものとなったと思われます。

今回のミニポリを通し、東京都看護連盟の多様な活動を知っていただく機会になったと考えられ、今後も青年部による様々なテーマでの開催を続けていきたいと思えます。

